



This manual is for reference and historical purposes, all rights reserved.

This creation is copyright© by M. Butkus, NJ, U.S.A.

These creations may not be sold or distributed without the expressed permission of the producer

I have no connection with any camera company

### On-line camera manual library

If you find this manual useful, how about a donation of \$2 to:

M. Butkus, 29 Lake Ave., High Bridge, NJ 08829-1701

and send your e-mail address so I can thank you.

Most other places would charge you \$7.50 for a electronic copy or

\$18.00 for a hard to read Xerox copy.

**This will allow me to continue this site, buy new manuals and pay their shipping costs.**

**It'll make you feel better, won't it?**

**If you use Pay Pal, go to my web site**

**[www.orphancameras.com](http://www.orphancameras.com) and choose the secure PayPal donation icon.**



# CONTAX Data Back Quartz

## D-6

取扱い説明書 **J**

このたびは、コンタックスデータバックウォーツD-6を  
お買い上げいただきありがとうございます。

データバックウォーツD-6は、液晶表示のウォーツ時計を内蔵した  
139ウォーツ用のデジタル式データ自動記録装置です。

データは、〈年・月・日〉、〈日・時・分〉モードのほか、  
シャッターリリースに連動する〈カウント〉モード、

6桁の任意数字が選択できる〈設定〉モードの4つが選べ、  
7セグメントの液晶数字で写し込まれます。

また写し込み機能は、連続撮影にも連動します。

ご使用になる前に、この取扱い説明書を良くお読みいただき、  
正しい取扱い方法をご理解のうえ、  
末長くご愛用くださるようお願いいたします。

## 目次

各部の名称	4	年・月・日/時刻の合わせかた	12
表示窓について	5	年・月・日の合わせかた	12
電池の入れかた	6	時刻の合わせかた	14
カメラへの取付け	7	カウント/設定モードのセット	16
操作ボタンについて	8	データの写し込み	18
MODE (モード) ボタン	8	データの写し込み位置について	19
SELECT (セレクト) ボタン	8	電池の交換時期	20
SET (セット) ボタン	9	電池取扱い上の注意	20
ASA ボタン	9	撮影上の注意	21
写し込みモード	10	液晶表示部について	21
年・月・日 (Y・M・D) モード	10	主な仕様	22
日・時・分 (D・T・M) モード	10	保証書について	23
カウント (COUNT) モード	11	アフターサービスのご案内	23
設定 (INDEX) モード	11		

## 各部の名称

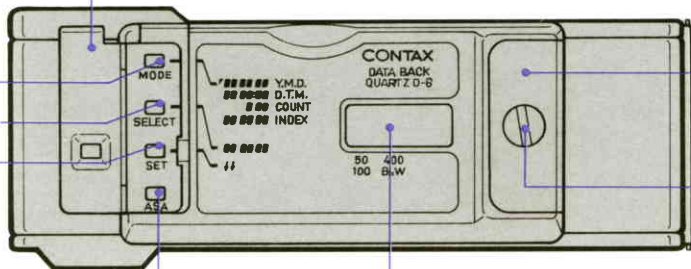
ボタンカバー

MODE (モード) ボタン

SELECT (セレクト) ボタン

SET (セット) ボタン  
(タイムチェック兼用)

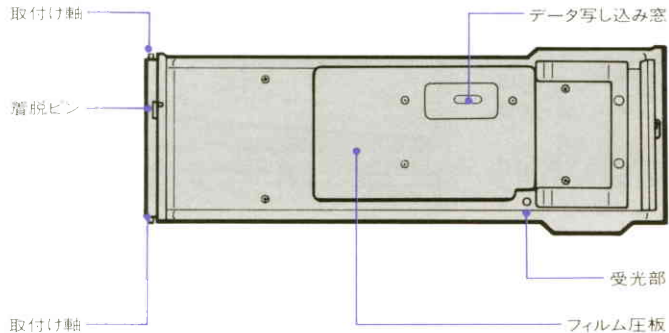
ASA ボタン



バッテリー室カバー

止めネジ

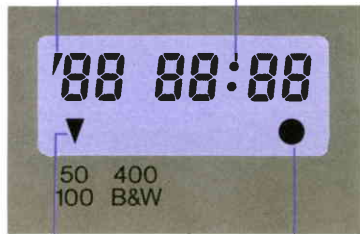
表示窓



## 〈表示窓について〉

「年・月・日」モードを示す  
マークで点滅表示。

「日・時・分」モードを示す  
マークで点滅表示。



写し込み確認マーク

データ写し込み時のみ表示(1秒)。

フィルムに写し込まれたことを示します。

フィルム感度設定マーク

使用フィルム感度を示すマークで、点灯表示。

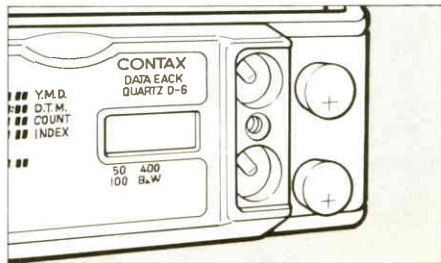
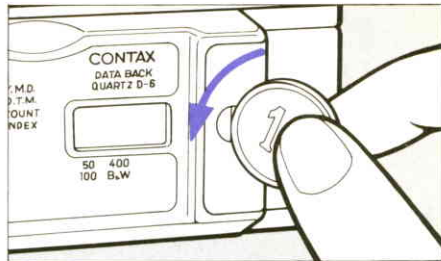
## 電池の入れかた

電池は1.55V銀電池JIS SR44型(G-13型)、または1.5Vアルカリ電池JIS LR44型を2個使用します。

**1** バッテリー室カバー中央の止めネジを、硬貨などを使って反時計方向に回してカバーをはずし、電池の⊕側を上に向けて入れてください。⊕と⊖を間違えるとデータバックは作動しません。

電池を入れたときは、表示窓に1981年1月1日('81 1 1)が表示されますので、12ページの「年・月・日 時刻の合わせかた」に従って必ず現在の時刻と日付けに合わせてください。

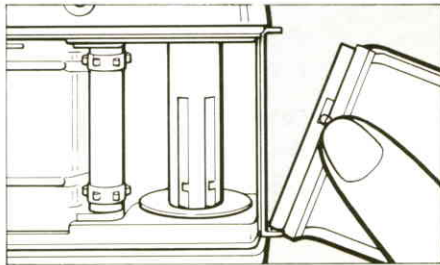
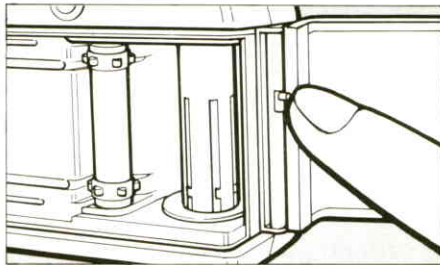
**2** 電池を入れ終わったら、バッテリー室カバーを元通りにしっかりと取付けます。



## カメラへの取付け

**1** カメラに標準装着されている裏蓋を開き、裏蓋着脱ピンを押し下げながら外側に傾けて取りはずします。

**2** データバックの取付け軸の下側をカメラの取付け穴に差し込み、着脱ピンを押し下げながら上側の軸も取付け穴に合わせ、着脱ピンから手を離します。これで取付けは完了です。





## 操作ボタンについて

写し込みモードの切替えは「MODE」ボタンで、日付けや時刻などの修正は「SELECT」及び「SET」の2つのボタンで行ないます。「ASA」ボタンは、フィルムに写し込む露光量を切替えます。ボタンの操作は、ボタンカバーの上部に爪をかけ、カバーをあけて行ないます。

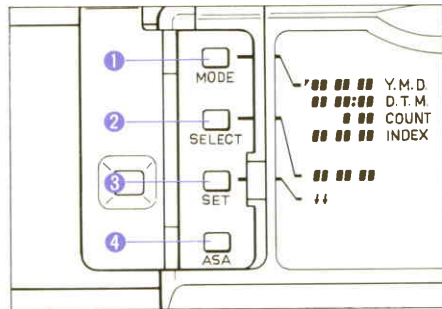
### ① 「MODE」(モード)ボタン

フィルムに写し込むモードを設定するボタンです。1回押すごとに「年・月・日」→「日・時・分」→「カウント」→「設定」→「写し込みなし」の順にモードが循環で切替わり、それぞれ表示窓にそのときのデータが表示されます。

### ② 「SELECT」(セレクト)ボタン

各モードの修正する桁を選ぶボタンです。修正は2桁ずつで、修正する桁のみが点滅し、他の桁は点灯となります。

- 修正の状態で「MODE」ボタンを押しても表示窓のデータは変わりません。
- 修正状態のときには写し込みはできません。



### ③ `SET`(セット)ボタン

数字の修正を行なうボタンで押すごとに数字が1つずつ増します。押し続けた場合は数字が早送りされますので、希望数字の近くまで押し続け、あとはボタンを1度ずつ押して希望の数字に合わせます。

●数字をセットしたあと、そのまま2、3分間経過すると、自動的に解除されて正常のモードに戻ります。

“TIME CHECK”(タイムチェック)機能:“SET”ボタンは、数字の修正以外に時刻の表示も行ないます。いずれのモード(写し込みなしも含む)のときも、ボタンを押している間だけ“日・時・分”が表示されます。

### ④ `ASA`ボタン

使用フィルムの感度に応じて写し込みの露光量を切替えるボタンです。押すごとにフィルム感度設定マーク“▼”が“50 100”と“400 B&W”を交互に示しますので下記に従ってセットしてください。

ASA ISO 200までのカラーフィルム……………“50 100”

ASA ISO 200以上のカラーフィルム、及び黑白フィルム……………“400 B&W”

## 写し込みモード

### 〈年・月・日(“Y・M・D”)モード〉

「年・月・日」モードは、表示窓の左から年、月、日と読み、表示されている内容をそのまま写し込みます。「年・月・日」モードのときは、年表示の左上で“!”マークが点滅し、年は西暦の下2桁が示されます。

(例) 1983年10月10日の場合

'83 10 10



### 〈日・時・分(“D・T・M”)モード〉

「日・時・分」モードは、表示窓の左から日、時、分と読み、表示されている内容をそのまま写し込みます。「日・時・分」モードのときは、時表示と分表示の間で“:”マークが点滅します。また時表示は24時間制ですので、午後5時は“17”と表示されます。

(例) 10日午後5時25分の場合

10 17:25



### <カウント("COUNT")モード>

フィルムへの写し込みに連動して、撮影が行なわれるごとに数字が1つずつ進み、表示されている内容をそのまま写し込みます。写し込みできる数字は、"000"から"399"までの3桁です。

●他の写し込みモードによる撮影時でも、シャッターリリースごとにカウントされ、数字が1つずつ進みます。ただし、「写し込みなし」のモード時はカウントされません。

(例) "200"からカウントする場合

2 00



### <設定("INDEX")モード>

数字を自由に選択できるので、撮影目的に応じてデータを写し込んだり、研究資料の分類などに利用できます。数字は6桁で"000000"から"999999"までの範囲でセットでき、表示されている内容をそのまま写し込みます。

(例) 長さ16cm

00 00 16



## 年・月・日/時刻の合わせかた

### <年・月・日の合わせかた>

データバックウォーツD-6には、オートカレンダー機構が内蔵されているので、自動的に日付けが切替わりますが、電池を交換したときなど自分で修正するときは、“SELECT”、及び“SET”ボタンを利用します。“SELECT”ボタンを押すごとに「年」→「月」→「日」の順に修正できる項目が点滅します。ここでは1983年10月10日に合わせる場合で説明をします。

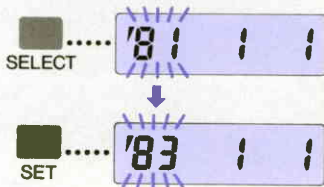
**1** “MODE”ボタンを押して表示窓を年・月・日(“Y・M・D”)モードにします。

**2** “年”を修正します。  
“SELECT”ボタンを押して年表示を点滅させ、次に“SET”ボタンを押して“83”に合わせます。年表示は、“99”(1999年)まで進んで“00”に戻ります。

■年・月・日(“Y・M・D”)モードにします。



■“年”を修正します。



### 3 “月”を修正します。

“SELECT”ボタンを押して月表示を点滅させ、次に“SET”ボタンを押して“10”に合わせます。月表示は、“12”まで進んで“1”に戻ります。

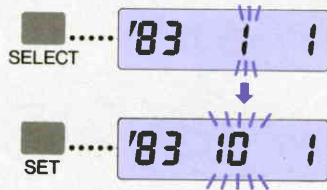
### 4 “日”を修正します。

“SELECT”ボタンを押して日表示を点滅させ、次に“SET”ボタンを押して“10”に合わせます。日表示は、大の月では“31”のあとに、小の月では“30”のあと“1”に戻り、2月は“29”のあと“1”に戻ります。

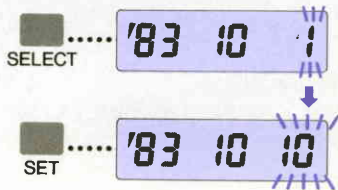
### 5 “SELECT”ボタンをもう一度押します。

桁の修正状態が解除され、“/”マーク以外は点灯となり通常の「年・月・日」モードに戻ります。

#### ■ “月”を修正します。



#### ■ “日”を修正します。



## 〈時刻の合わせかた〉

データバッククォーツD-6には、クォーツ時計が内蔵されていますが、電池を交換したときなど自分で修正するときは、「SELECT」及び「SET」ボタンを利用します。「SELECT」ボタンを押すごとに「時」→「分」→「秒」の順に修正できる項目が点滅します。

ここでは10日17時(午後5時)25分に合わせる場合で説明します。

**1** 「MODE」ボタンを押して表示窓を日・時・分(「D・T・M」)モードにします。

「日・時・分」モードでは日の修正はできません。

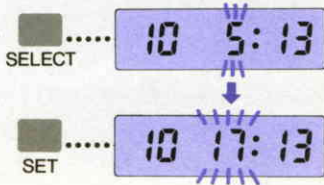
**2** 「時」を修正します。

「SELECT」ボタンを押して時表示を点滅させ、次に「SET」ボタンを押して「17」に合わせます。時表示は、「23」まで進んで「0」に戻ります。

■日・時・分(「D・T・M」)モードにします。



■「時」を合わせます。



### 3 “分”を修正します。

“SELECT”ボタンを押して分表示を点滅させ、次に“SET”ボタンを押して“25”に合わせます。分表示は、“59”まで進んで“0”に戻ります。

### 4 “秒”を合わせます。

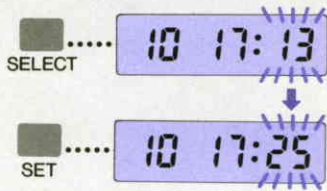
秒の表示はありませんが、時報(電話、ラジオなど)で秒を合わせることができます。分の修正後、“SELECT”ボタンを押すと“:”マークがこのときのみ修正時と同じ点滅(速くなる)となるので、時報に合わせて“SET”ボタンを押すと、“0”秒からカウントを始めます。

●内蔵されたクォーツ時計は、常に作動しているので“SET”ボタンを押す前の秒カウントが0~29秒のときはクリアされて“0”秒に戻り、30秒~59秒のときは“0”秒に戻ると同時に分表示が1分進みます。従って秒を時報で合わせたのちに、手順3の分を合わせると楽に修正ができます。

### 5 “SELECT”ボタンをもう一度押します。

修正状態が解除されて「日・時・分」モードに戻り、“:”マークも通常の点滅となります。

#### ■“分”を修正します。



#### ■“秒”を修正します。





## カウント/設定モードのセット

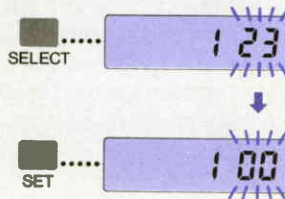
**1** "MODE" ボタンを押して表示窓を「カウント」("COUNT")、または「設定」("INDEX")モードにします。

**2** "SELECT" ボタンを押してセットする桁を点滅させます。  
「カウント」、及び「設定」モードでは、ボタンを押すごとに下の桁から左へ2桁ずつ点滅が移動し、セット可能な状態になります。

(例)「カウント」モードのとき…… "200" からカウントをする場合



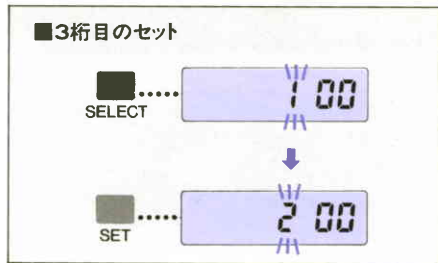
■下の2桁のセット



**3** "SET" ボタンを押して数字をセットします。  
「カウント」モードでは、下の2桁は"99"まで進んだあと"00"に戻り、3桁目は"3"まで進んで"0"に戻ります。

「設定」モードでは、いずれの2桁とも"99"まで進んで"00"に戻ります。

**4** "SELECT" ボタンをもう一度押します。  
数字のセット状態が解除されてすべて点灯となり、通常モードに戻ります。



## データの写し込み

データは、6桁の7セグメント液晶によってフィルムの裏面から、シャッターレリーズに連動して自動的に写し込まれます。

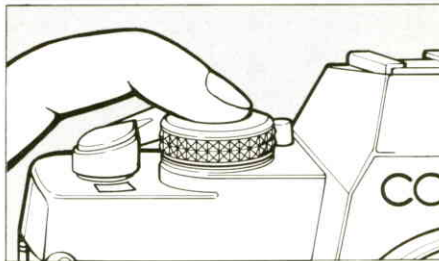
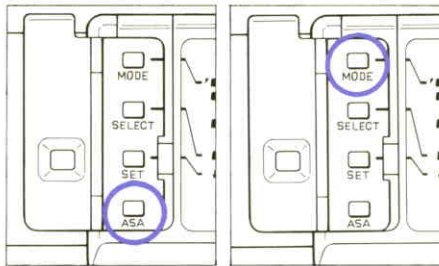
**1** “ASA” ボタンを押して、“▼”マークを使用フィルムの感度表示に合わせます。

**2** “MODE” ボタンを押して、フィルムに写し込むモードを表示窓に出します。

**3** カメラのレリーズボタンを押して撮影します。シャッターを切ったあと、表示窓に写し込み確認マーク“●”が約1秒間表示され、写し込みが行なわれたことを示します。

● データを写し込まないときは、表示窓を「表示なし」のモードにします。

● 139ワインダー II を使用しての連続撮影にも連動してデータを写し込むことができます。



### 〈データの写し込み位置について〉

データは、カラーフィルム使用のときは橙色で、黑白フィルムのときは白色で画面の右下隅に記録されます。従って被写体のハイライト部分が写し込み位置に重なるとデータが読みにくくなりますので注意してください。



## 電池の交換時期

データバックウォーツD-6は、自動的に電池のチェックが行なわれます。電圧が正常なときは、表示部のデータが点灯していますが、電圧が規定以下になった場合は、表示データのすべてが点滅をして知らせます。この状態になったら新しい電池と交換してください。

表示データが点滅を始めてからも時計機能は正しく作動しますが、撮影時にデータが写し込まれなかったり、データの表示も写し込みも薄くなりますのでこの状態では使わないでください。

新しい電池に交換しても表示データが点滅を続けることがあります。この場合は一度空写しを行ない、点灯表示になることを確認してください。

またデータバックから電池を取出すと時計機能は停止しますので、新しい電池を入れたあとは必ず日付け、時刻を確認するとともに正しく合わせてください。

### 〈電池取扱い上の注意〉

- 電池の寿命は銀電池で約2年、アルカリ電池で約1年位ですが、撮影頻度や電源購入時の状態、撮影時の周囲の気温などによって変化します。データバックは時計機能を内蔵しているので、特に寿命の長い銀電池の使用をおすすめします。
- 電池は、一般に低温(約0℃以下)になると性能が低下しますので、データバックが正常に作動しなくなることがあります。寒冷地ではデータバックを保温しながら使用するか、予備の電池を用意することをおすすめします。なお低温のために性能の低下した電池は、常温に戻れば回復しますからそのまま使用できます。
- 電池の両極を汗や油などで汚したりすると接触不良の原因となりますので、乾いた布でよく拭いてから使用してください。
- 使用済の電池を火の中に捨てたり、分解するのは危険ですからやめてください。

- フィルム交換の際などに、データバック本体の受光部を明るい方へ向けると、信号を受けたときと同じ状態になり、写し込み確認マークが表示されます。同時に「カウント」モードの数字が進みます。
- フィルムの種類や被写体の明るさ(明るい場面や暗い場面)の違いによって、写し込まれるデータに濃淡差が生ずることがあります。このときは、「ASA」ボタンで露光量を調節してください。
- 増感、減感などの特殊な処理をするときは、あらかじめテスト撮影をしてデータ濃度を確認することをおすすめします。

### 液晶表示部について

- ①次のような温度条件や現象下では表示が読みにくくなるので注意してください。ただし常温に戻れば正常な表示となります。
  - 夏の海辺や直射日光下の自動車内など、極度に高温になるような場所に長く置いておくと温度の上昇に伴って、表示部全体が黒くなり読みにくくなります。
  - 気温が0℃以下になるような所に長く放置したり、寒冷地での屋外では、温度の低下に伴って表示の応答が遅くなり、全体が薄くなり読みにくくなります。
- ②液晶は性質上、通常にご使用いただいた状態で、約5、6年を経過すると寿命がなくなり、表示のコントラストが低下して読みにくくなります。この場合は、お買い上げ店、もしくは最寄りの当社サービスステーションへお持ちください。

## 主な仕様

**型式:**クォーツ制御の液晶表示式データ記録装置

**使用カメラ:**コンタックス139クォーツ

**カメラとの接続:**カメラ側のデータバックLED発光によるノンコード接続方式

**データの外部表示:**7セグメント液晶による6桁数字

**データの写し込み:**スーパーインポーズ方式(液晶とランプの組み合わせにより、フィルム裏面から写し込む) シャッター作動に連動した自動写し込み

**データ写し込み位置:**フィルム画面の右下隅

**データ写し込み確認:**写し込み確認マークの点灯

**写し込みモード:**「年・月・日」、「日・時・分」、「カウント」(写し込みに連動してカウント……000~399)、「設定」(6桁の数字……000000~999999)の4モード

**写し込みモードの切替え:**押しボタン式

**フィルム感度のセット:**押しボタンによる2段階切替え(露光量の切替え)

**クォーツ時計:**基本時計……年・月・日、及び日・時・分 カレンダー機能……西暦1999年までのオートカレンダー付、うるう年・大小月の自動修正 時計機能……24時間制表示、月差±15秒以内(常温)

**連続撮影:**139ワインダーIIに連動

**電源:**1.55V酸化銀電池JIS SR44型、または1.5Vアルカリ電池JIS LR44型を2個使用

**電源チェック:**自動チェック回路内蔵 電圧低下時は表示が点滅して警告

**寸法・重量:**138(幅)×53(高さ)×27(奥行き)mm・80g(電池別)

※仕様・外観の一部を予告なく変更することがありますのでご了承ください。

## 保証書について

データバックフォーツD-6には国内・海外を通じ、ご購入日より満一年間の「国際保証」がなされます。

保証書はお買上げの際に、必ずご購入店からお客様にお渡しすることになっていますので、「ご購入店名」、「ご購入年月日」が記入されていることをご確認の上、お受け取りください。

もし保証書をお受け取りになりませんと、万一故障した場合、保証規定に基づく修理を受けることができなくなります。また、保証書の再発行は致しませんので紛失しないよう保存してください。

## アフターサービスのご案内

①万一本製品が故障したときは、ご購入店か最寄りの弊社サービスステーションに現品ご持参の上、故障内容を詳しくお申し出ください。なお故障の状態によっては、そのときのフィルムなどを添付していただくと修理作業の参考となります。保証書の添付がないと有料修理となりますのでご注意ください。また製品を郵送する場合は、必ず書留小包にてお願いします。

②修理にかかる日数は、故障内容によって多少異なりますが、弊社でお預りしてから約7～10日位をご予定ください。

③本製品の補修用性能部品は、5年間を目安に保有しておりますので本期間中は原則として修理をお受けします。なお期間経過後でも修理可能な場合もありますので、ご購入店か弊社サービスステーションにお問い合わせください。

④保証期間経過後の修理は、有料修理となります。また運賃諸掛りはお客様にてご負担いただきますのでご了承ください。

⑤水没・冠水・ショック品・その他損傷の著しいもので、製品の性能が元通りに復元できないと思われるものは、修理不能となる場合もありますので、ご購入店か弊社サービスステーションにご相談ください。

⑥海外旅行中に故障した場合は、ヤシカ海外サービスステーション、または代理店にご相談ください。詳細については最寄りのサービスステーションにおたずねください。

※海外旅行には保証書をお持ちください。



株式会社 **ヤシカ** 営業所/サービスステーション

東京	●〒150	東京都渋谷区神宮前6-27-8	☎ 03(400) 1411・サービス1422
大阪	●〒550	大阪市西区南堀江4-17-18(原田ビル205)	☎ 06(532)2251
名古屋	●〒460	名古屋市中区錦3-12-10	☎ 052(961)0656
福岡	●〒812	福岡市博多区中呉服町2-7(博多村山ビル)	☎ 092(281)5749
札幌	●〒001	札幌市北区北20条西4-19(北陽ビル1階)	☎ 011(721)1612
仙台	●〒980	仙台市東9番丁82-1(東9番丁パークマンション105)	☎ 0222(91)5011
広島	●〒730	広島市中区大手町3-5-3(野村ビル)	☎ 082(243)7437
新潟	●〒950	新潟市蒲原町3-28(明石ショッピングセンター内)	☎ 0252(44)3866
高松	●〒760	高松市内町4-1(小松ビル)	☎ 0878(51)2495
静岡	●〒420	静岡市駿河町5-6(寿ビル)	☎ 0542(53)7822
大宮	●〒330	大宮市東町2-291(グリーンマンション)	☎ 0486(43)0566
横浜	●〒231	横浜市中区不老町3-13-12(ペインティングビル1階)	☎ 045(641)3333
岡山	●〒700	岡山市清輝橋4-2-8	☎ 0862(32)3627
金沢	●〒921	金沢市入江2-431(中川ビル2階)	☎ 0762(91)4626

東京事務所 ●〒145 東京都大田区田園調布南20-3 ☎ 03(750)2211(代)  
コンタックスサロン ●〒150 東京都渋谷区神宮前6-27-8 ☎ 03(400)1424